

活動名	団体名	神楽ふれあい実行委員会ヒロシマ
第6回神楽ふれあい鑑賞会ヒロシマ	地域	広島県広島市
	代表者	会長 伊藤 恒夫
	支援金額	20万円
活動概要		
<p>2つの事業の活動をさせていただいております。</p> <p>「神楽鑑賞会ヒロシマ」</p> <p>第6回で8千人近くの皆様が神楽鑑賞会にお越しいただいたこととなります。また、第1期生～第5期生 350余名の子どもたちが一生懸命稽古に励んでおります。第6期生も募集予定です(3月中)。神楽を舞いたい、神楽囃子を覚えたい子どもたちに本場の神楽を、伝統文化を！多くの皆様に見ていただき、神楽の面白さ、心を一人でも多くの子どもたちの舞いたい、覚えたい、夢が叶い、礼節、連帯心が青少年育成に繋がればと、第1回の神楽鑑賞会ヒロシマ(20年2月)開催から続けています。</p> <p>「神楽ふれあい青少年育成体験教室」</p> <p>最初の「神楽ふれあい青少年育成体験教室」は、20年5月、子ども参加58名にて開催しました。ご指導は安芸高田市高宮町羽佐竹神楽団様にて、稽古を重ねていただいております。24年度は、「神楽ふれあい青少年育成体験教室(11回)」と、第6回神楽ふれあい鑑賞会ヒロシマで、1,500余名の皆様に神楽鑑賞をしていただき、子どもたちに大きな大きな拍手を頂きました。</p> <p>◆実施時期 平成25年2月3日(日) 13:00～17:30 広島市立本川小学校体育館</p> <p>◆参加人数 神楽ふれあい鑑賞会ヒロシマ参加者 1,500余名(子どもたち、保護者、高齢者男女、障害のある方、車椅子の方) 主催者、スタッフ、出演者(羽佐竹神楽団団員、少年少女神楽団ヒロシマの子どもたち)計99名 参加総人員:約1,500名</p>		



安芸高田市高宮町羽佐竹神楽からの指導者のもとで、基礎的な稽古を重ねます



先生を見習ってお稽古です



見事な舞を披露しました



神楽囃子も自分たちで演奏しました

◆実施に伴う効果

当然のことですが、神楽を見たことのない、神楽に触れたことのない、市内の方、町の地域の皆様は、「神楽を通じて青少年育成の目的に通じるのか?」「神楽は知らん」と言われる人たちが大変多かったです。しかし、そのような町中、市内にあっても、本川町、広瀬町、十日市町の神社様は、「秋祭り」(土・日)の2晩4神楽団様による神楽奉納をされており、私も、51年10月の秋祭りより36年間楽しませていただき、また、秋祭りを楽しみに待っております一人です。

2、3年前より、神楽奉納の時間は、神社の境内が皆様で一杯です。子どもたちも大変多くなりました。田舎で私が子ども時代、地域の子どもがすべて友達で、共に神楽をわくわくして楽しく見ていた姿と喜びの笑顔、怖がっている表情等が重なって見えました。町の子どもたちも全く同じなのです。6年前から神楽の大好きな子どもも2~3人、親、おじちゃん、おばあちゃんと来ておられました。

本川地区社協様の総会に出席させていただくことになり、「伊藤さん、やってみんさい」とおっしゃっていただき、計画通り会則を作成し、第1回神楽ふれあい鑑賞会を開催することができたのです。2月11日建国記念の日でした。以来、2月第1日曜日を鑑賞会予定日にしております。

◆苦勞した点

開催日のお天気を毎年祈り続けております。心の中で一番心配をしております。第1回神楽鑑賞会開催より1,300~1,500余名の方々が入場参加下さっておりますので!晴れの天気予報や曇りを聞くとほっとしますと同時に、2日前までストーブの台数等については、毎年ギリギリまで悩みます。今年は温風ヒーター5台と決めました。体育館は寒いですし、空気が冷たいのです。去年は午後より少し寒かったと聞いておりました。3台でした。今年は全く暖かくて!暖かくて寒さを全く感じなかったと、多くの方より声を聞くことができました。私の心も良かったと笑顔になりました。また、本当に多くの皆様より、「感動した、こんな神楽初めて観ました」「主人が観に行行って帰るなり『すごかった、感動した』』と言ってました!」と喜んでくださいました。

◆今後の課題・発展の方向性

広島県無形民俗文化財指定の伝統のひろしま神楽の楽しさ、美しい神楽が大好きな子どもたち、舞いたい、覚えたいと思う心の夢を叶えてあげ、伝統文化・郷土芸能の神楽を通じて心に残る体験・体感を「神楽ふれあい鑑賞会ヒロシマ」の舞台で舞うていただき、大好きな神楽の継承の道に繋げていただけると信じております。大好きな子ども、舞いたい!覚えたい!神楽の大好きな子どもがいる限り「神楽ふれあい鑑賞会ヒロシマ」と「神楽ふれあい青少年育成体験教室」2つの事業を続けさせていただきますように、大切に運営活動を行って参ります。

◆活動を終えての感想・意見等

広島市立本川小学校体育館内コーナ一杯に「第6回神楽ふれあい鑑賞会ヒロシマ」に入場下さることができましたのも、温かいご支援、公益財団法人マツダ財団殿の助成金を始め多くの皆様方のご協賛金・寄付により第6回鑑賞会も事故なく盛会裏に終えることができました。心より感謝一杯です。ありがとうございます。